

5

今年は「ペット共生型住宅」

29

北海学園大学セルフリノベーション事業提案会

包括連携協定を結んでいる北海道学園大学の岡本ゼミに所属する学生らが、5月29日（金）今年度で8物件目となるセルフリノベーションハウス事業の提案会を行いました。

今年は「ペット共生型住宅」をテーマに緑町団地をリノベーションする予定で、人とペットが自然を身近に感じることができる『自然帰家』と憩いの場として「遊ぶ」や「落ち着く」など3つの目的別のスペースを作る『憩いの体験』の2つのリノベーション案が発表されました。

投票の結果、『憩いの体験』が採用となり、参加者からの意見などを基にリノベーション内容をさらに検討し、作業に取り掛かる予定です。



6

環境に配慮したまちづくりへ

4

旭川トヨペットグリーンキャンペーン

旭川トヨペット株式会社の遠藤稔代表取締役社長らが、6月4日（木）役場を訪れ、横山町長にヤエザクラの苗木を寄贈していただきました。

この活動は、平成25年からトヨタ自動車株式会社が人と自然との融和を目的に、毎年全国規模で「ふれあいグリーンキャンペーン」として地域貢献活動を行っているもので、沼田町では今年で13回目となります。

横山町長は「町内にある桜づつみに植樹させていただきます。これからも環境に配慮したまちづくりを進めていきます」と述べられました。



6

沼田町を花で彩る

5

グリーンルーラルぬまた21

沼田町自治振興協議会（上林文雄会長）が主催するグリーンルーラルぬまた21が6月5日（金）、6日（土）行われました。

この事業は町の景観をより美しく彩る取組の一環として行われており、色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、ベゴニアが配布され、町内会や団体にご協力いただき、地域の花壇や町内施設などに植えられています。



6

今年初の町主催大会

5

沼田町教育長杯争奪パークゴルフ大会

第15回教育長杯争奪パークゴルフ大会が6月5日（金）町民パークゴルフ場で開催され、留萌市や深川市など町内外から58名の愛好家が集まり、優勝を目指して日頃の練習の成果を発揮しました。

開会式で三浦教育長は「今年初の大会に多くの方のご参加いただきありがとうございます。熱中症に気を付けながら楽しんでプレーしてください」と挨拶され、参加者は、互いに声を掛け合いながら元気にコースへと繰り出しました。



6

安心、安全なまちづくりへ

8

夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が6月8日（月）沼田小学校駐車場で行われました。

今年度3回目となる出動式で石田総隊長は「日々の安全の積み重ねが大きな目標に繋がっていくと思います。町民の期待に応えるために引き続き活動よろしくをお願いします」と挨拶されました。また、横山町長は「3月に交通事故死ゼロ5,000日を達成できたのは、こうして日々協力いただいているからです。交通事故のない安心、安全なまちづくりへ、引き続きご協力よろしくお願いします」と隊員らを激励されました。



6

きれいな花がたくさん植えられました

10

沼田町赤十字奉仕団による植樹活動

沼田町赤十字奉仕団（金平智子委員長）の団員18名が、6月10日（水）旧沼田厚生クリニック前の町道植樹帯に、色とりどりのマリーゴールド約400株を植えるボランティア活動を行いました。

平成18年から続けていただいているこの活動は、今年で21回目となり、団員の皆さんは、スコップを手に持ち、慣れた手つきで土を起こした後、一つ一つ丁寧に花を植えていきました。



6

自衛官の募集活動を支える

15

自衛官募集事務相談員委嘱状交付式

自衛官募集に関する情報提供や広報などの援助を行う「自衛官募集相談員」として、大沼恒雄さん（市内4）、荒木勉さん（北竜3）に委嘱状を交付しました。

6月15日（月）に行われた委嘱状交付式では、横山町長から「全国的に不足している自衛官確保のため、募集活動等よろしくお願いいたします」と話され、自衛隊旭川地方協力本部の松坂仁志本部長から「日々、募集活動にご尽力いただき、ありがとうございます。引き続き、活動へのご協力よろしくお願いいたします」と挨拶されました。



6

安心感と癒しを感じて欲しい

18

福祉有償運送車両の愛称が「ほのぼの号」に決定

令和8年4月から本格運行を開始した福祉有償運送車両ですが、より身近に感じていただけるよう愛称を募集した結果、吉田好宏さん（高穂2）が考えられた「ほのぼの号」に決定したことから6月18日（木）表彰式が開催されました。

吉田さんは「安心感や癒しを感じて欲しい」という願いを込めてこの愛称を考えられ、沼田町社会福祉協議会の松田剛会長から表彰状と記念品が贈呈されました。



6

セルフリノベーション事業で使用して

18

橋田さんから北海学園の学生へ工具を贈呈

市内1南に住む橋田賢吾さんから、北海学園大学セルフリノベーション事業を行っている学生へカンナやノコギリなどの工具を寄贈していただきました。

橋田さんは、過去に大工としてご活躍されており、自宅にある工具を大学生に使用していただきたいという想いから、一つ一つの工具を丁寧に説明していただき、学生へ手渡されました。

現在、「ペット共生型住宅」をテーマに緑町団地のリノベーションを行っており、寄贈いただいた工具を使用させていただき、作業を進めてまいります。



6

自分の限界に挑戦

21

ベンチプレス・クラシックベンチプレス選手権大会

第36回北海道ベンチプレス選手権大会・第30回北海道クラシックベンチプレス選手権大会が6月21日（日）町民会館で開催され、全道各地から多くの出場者が集まり、自分の限界に挑戦しました。

大会はギア（専用のサポートスーツ）を着用する選手権と、ノーギアで純粋な筋力を競うクラシック選手権の2大会が開催され、それぞれの体重別の階級に分かれて熱戦が繰り広げられました。



6

移住体験者が地元の方と交流

22

ちょっと暮らし交流会【そば打ち体験】

沼田町で移住体験を行っている方を対象にちょっと暮らし交流会【そば打ち体験】が6月22日（月）雪中そば道場で開催され、6名の移住体験者が参加されました。

そば打ちの有段者が多く所属する町内の「雪中そば倶楽部」にご指導いただきながら、こねる作業から切る作業までの一連の流れを体験し、東京からお越しのご夫婦は「過去にそば打ちをした経験がありますが、久しぶりで楽しかったです」と笑顔で話され自ら打ったそばを堪能されました。



6

北竜地区老人クラブの皆さんが

23

本願寺駅通清掃ボランティア

北竜地区老人クラブ（糸優子会長）が、6月23日（火）北竜地区にある本願寺駅通の清掃ボランティアを行いました。

本願寺駅通は道指定文化財に指定されており、この歴史的建造物を守り受け継いでいこうと、毎年行っている清掃ボランティアには12名が参加され、1年間溜まった建物内部や外周りのホコリを綺麗に落としていました。



6

25

雪中米誕生30年記念事業利雪学習特別授業

「雪は新しいエネルギー」

「スノークールライスファクトリー」の雪冷房システムの設計・指導をいただいて以来、本町の雪利用の取組みに長年ご協力いただいている、室蘭工業大学むろりやまきやうだいがくの媚山政良名誉教授が6月25日（木）沼田小学校（内藤竜治校長）6年生を対象に「雪は新しいエネルギー」と題し、利雪学習特別授業を行いました。

媚山名誉教授は特別授業でこれからのエネルギー枯渇問題と雪をエネルギーとして活用しようと思った背景や雪冷房システムについて紹介され、児童は興味深く頷きながら授業を受けていました。



6

25

未来と家計に優しいエコへ

ぬまエコ定期相談会

2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」の実現とGX（グリーントランスフォーメーション）に向けた取組の一環として、暮らしの節約術やエコな行動を学ぶ「ぬまエコ定期相談会」が6月25日（木）暮らしの安心センターで開催されました。

相談会では、家庭でできる省エネやごみの減量化などについて参加者と話し合い、無理なく取り組める環境行動などを紹介いたしました。

毎月開催される「ぬまエコ定期相談会」のほかに出前講座も実施しておりますので、お気軽にご利用ください。



「えふたんと巡る！12市町ぐるっとスタンプラリー」が開催されます

オール北海道ボールパーク連携協議会食と観光分科会に参画する12自治体が連携して実施する、参加無料のスタンプラリーが開催されます。

各自治体の観光スポットや食を楽しみながらデジタルスタンプを集めると豪華景品が当たる抽選に応募することができるほか、条件達成（先着）で各自治体をイメージして作成されたご当地えふたんのステッカーがもらえますので、是非ご参加ください。

■対象自治体 江別市・恵庭市・石狩市・苫小牧市・千歳市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町・雨竜町・沼田町・北広島市

■期 間 令和8年7月1日（水）から8月16日（日）まで

■参加方法 Fビレッジアプリをダウンロード
※詳しくは、二次元コードからご覧ください。

■お問合せ Fビレッジ広域周遊施策実行委員会

☎ 011-372-3311（ボールパーク連携推進室内・内線 4344）

Ftan HOKKAIDO BALLPARK x 沼田町



▲沼田町限定ご当地えふたん



加工用トマトを学ぶ

沼田小・中学生加工用トマトバック栽培定植

沼田町の特産品であるトマトジュースやトマトケチャップの原料である加工用トマトについて知ってもらうために沼田小学校（内藤竜治校長）4年生と沼田中学校（吉田久校長）2年生・3年生を対象に加工用トマト栽培体験が行われました。

加工用トマトは通常、露地栽培で行いますが、子ども達はバック栽培と呼ばれる土の入った専用のバッグに苗を一株ずつ移植しました。

今後は、生育を観察しながら水やりや収穫を体験していただき、収穫したトマトを食べたり加工するなどを予定しております。



▲ 6/9 小学4年生の栽培体験の様子



▲ 6/15 中学2年生（写真左）・3年生（写真右）の栽培体験の様子

植村建設株式会社からご寄附いただきました

赤平市に本社を置く植村建設株式会社（植村正人代表取締役社長）より200万円のご寄附（企業版ふるさと納税）をいただきました。

横山町長は「今年は夜高あんどん祭り50回目の記念すべき年ですので大切にに使わせていただきます。また商工会のあんどん作成にもご支援いただきありがとうございます」と感謝を述べ、植村社長、木村技術顧問へ感謝状を贈呈しました。植村社長は「母方の曾祖父が明治44年に宮城県から恵比島に移住しており、沼田町は縁のある町。夜高あんどん祭りほどの大きなお祭りを長年続けられるのはすばらしいこと。町の活気は大事な

ので有効に活用してください」と述べられました。

